

紫波町かいわい IT 事情

紫波町 IT サポートコーナーを運営するゴーフォワードジャパンが発信します

紫波町IT無料相談 - パソコンやスマホを使っていて困ったことがあったら、ITサポートコーナーでいっしょに考えて良い方法を見つけましょう。



金曜・土曜の10時～16時にオープンしています
(情報交流館の休館日を除く)

仙台マイクロメーカーフェア特集 出展者ID SM008(マダラボ)

Sendai Micro Maker Faire®

- 日時：2022年 6月25日(土) 13:00-17:00
- 会場：協同組合仙台卸商センター
産業見本市会館 サンフェスタ 301、302
宮城県仙台市若林区卸町2丁目15-2

プログラミング環境 LabVIEW は各種計測制御機器のインターフェースを持っているので、データ収録や制御が必要な技術開発の現場で活用されています。LabVIEWは専門のプログラムスキルがなくても、関数アイコンなどを使ってグラフィカルにプログラムを作成することができます。

LabVIEWはNI - National Instruments社の登録商標です。



2020年5月に非商用なら無料で使える **LabVIEW Community Edition** がリリースされました。ArduinoやRaspberry PiとのインターフェースとなるLINUXも含まれていますので、電子工作の幅を広げることができます。サンプルプログラム付きの無料の電子ブックがありますので、ダウンロードして使い方を学んでください。

ITサポートコーナーに併設されているファブラボ紫波では、IoTの中核的機能であるデータ収録プログラミングに定評のあるLabVIEWの体験講習会を密かに企画中です。関心のある方はご連絡ください。



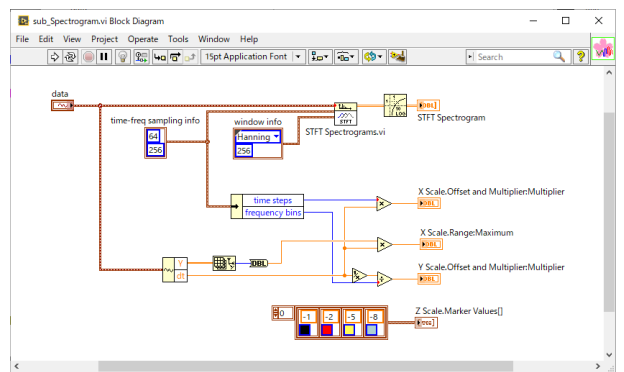
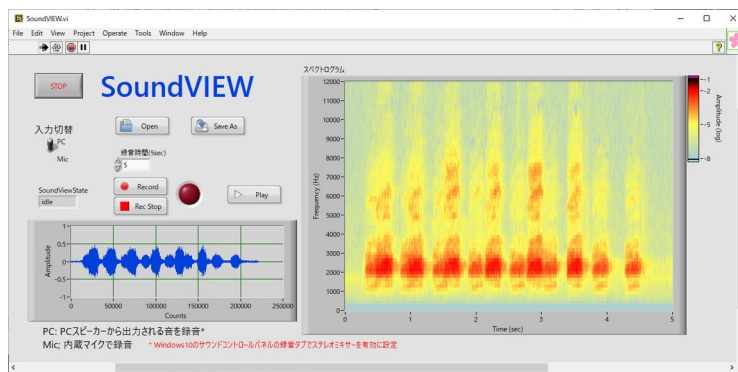
著作：日本LabVIEWユーザー会有志

出展者 SM008マダラボも「LabVIEW Community Editionでプログラミングを楽しもう」の共同著者なので、質問には熱くお答えします。

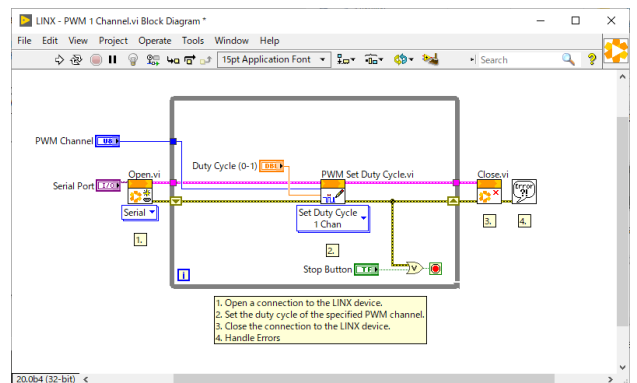
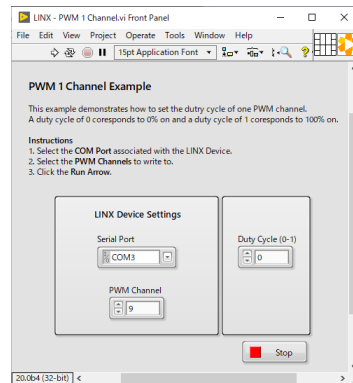
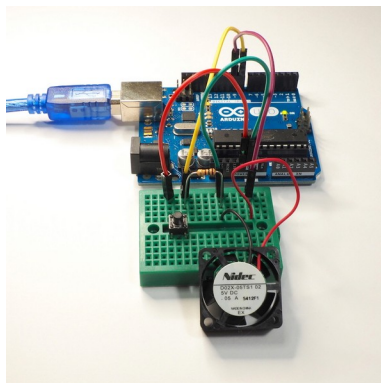
およそ140ページのPDFファイルで、説明に使われているプログラムは全て提供されています。プログラミングが初めての方でも本を読みながらサンプルプログラムを動かして、LabVIEWでのプログラミングの方法を学ぶことができます。

- 1章: LabVIEWで学ぶプログラミング
- 2章: LabVIEWコミュニティ版を使ってみよう
- 3章: グラフィカルプログラミングにふれる
- 4章: 自分のアプリを作ってみる
- 5章: LabVIEWとArduino
- 6章: LEDの特性を調べてみよう
- 7章: 半導体センサを使ってみる

例えば、第4章では短時間フーリエ変換を使用した「スペクトログラム」を例にアプリケーションの作り方を学びます。



第5章ではArduino UNOにLINXファームウェアを書き込んで、LabVIEWプログラムでIOを制御する方法を学びます。



LINXを使ったプログラム集ですが、LabVIEW Community Editionがリリースされる少し前に発行された、ちょっと不運な本です。「北東北LABVIEWユーザー会」のアップデートされた情報などで補って活用ください。



CQ出版URL



北東北LabVIEW

ITサポートコーナーとファブラボ紫波は紫波町情報交流館2階で、金曜日と土曜日の10時から16時までオープンしています。(情報交流館の休館日はお休みです。)

問い合わせは info@go-forward-japan.org まで。

メール用QRコード

